

東北地方の医学部医学科
講演を聴講した学生の感想
テーマ：「最初のペンギン」
～ “仕事” と “考え方” をリンクさせる～

- ・ 講義を聞いて大変印象に残るものが多く、ここ数ヶ月のうち受けた授業の中で最も充実した時間を過ごせた講義だったと思います。他では触れることのできなかつたであろう知識や考えを知ることができ、楽しかったです。医師という職業を極めるのに大切なものは何かを確認しながら、これからの道を進んでいきたいと思います。自分自身医師というものは、技術さえあって患者の病気を治すことができれば良いものかどうか悩んでいましたが、そうではないと再認識しました。医師として大切なものは患者の喜びを追求する信念とそれを貫く覚悟である、とわかりました。医療の業界が抱える問題については、今日の講義で言っていたことと似たようなことを思っており、マニュアル化された手続きしかとらない医師、面倒な患者を扱おうとしない医師が増えているのではないかと感じていましたが、自分が将来医師になるときは、そのような医師にならないよう今日の授業の内容を覚えておきたいです。
- ・ 皮膚科の先生の中に、岸本先生のような勇気と志を持った先生がおられることを知ることができ、非常によかったなあと思いました。このような講義をしてくださる方はほかにいないので、純粹に嬉しかったです。自分は医学部に入って正直周りの人との価値観の違いに戸惑ってばかりで、今でも悩むことが多いです。結局のところ「自分がどういう人間になりたいか、どう生きるか」が重要だし、周りは気にしないでとにかく役に立てる人間になりたい…とっていたので、自分はまだまだ到底先生には及ぶ訳もない身ですが、同じような考えを持って取り組んでいらっしゃる先生に感銘を受けました。医者の世界にこれから飛び込んでいくのがとても恐い思いがありますが、自分の気持ちを忘れず、あきらめない心を持って、どんなフィールドであったとしても頑張りたいなと思えました。ありがとうございました。
- ・ 臨床と研究を同時に行いつつ、加えてその研究の結果が実際に臨床で活かされた、というお話を聞いたことがとてもうれしかったです。自分の身内で未だにどの病院に行っても何も良い結果を聞けないという人がおり、その人の話を聞くといつも胸が痛いです。今回のお話は本当によく共感できました。私は医師になったら、その身内が患っている疾患の科に行き、研究もしつつ原因を探していきたいと思っていますので、とても背中を押されました。また、今までの私の甘えっぷりも痛感させられました。ありがとうございました。
- ・ 他の先生からは聞くことができない講義を聞けて、いろいろ考えさせられました。医者の本質を改めて教えて頂いた感じです。皮膚科は他の科に比べ重要視していなかったのですが、困っている患者さんは多いし、何より岸本先生のような情熱のある先生がいることに興味がわきました。
- ・ 岸本先生のお話は、岸本先生ご自身の経験に基づいた内容で、大変説得力がありました。あのような「人間性」を教えてくれた先生は今までいませんでした。医師にとって最も重要なものを岸本先生から学びました。今日の岸本先生のお話を心に留め、明日から気持ちを新たに、愚直にがんばりたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。
- ・ とても勉強になる話をありがとうございました。一つ一つの言葉に重みを感じ、心にしみました。自分も「最初のペンギン」になりたいと強く感じました。私は、先生の言う、学問を死学としてしまっている人間です。創造力がなく、人に言われるがままにしかできない。それではいけないと思いつつも、自分ではできない、と思い込んでいました。でも、今回の話を聞き、もっと

自分を変えなきゃ、と思いました。やる気のある学生には、今後ともこのような講義を受ける機会を与えてほしいし、これから下の学年にも聞いてほしいと思いました。本当にありがとうございました。

- 先生の授業は、私が大学に入ってからおそらく一番有益で考えさせられたものでした。大学受験のときは、面接対策で「医師に必要なものは知識・技術だけでなく人間性云々…」というフレーズをよく意味も分かりもせず言っていた覚えがあります。知識だけあっても役に立たないということは分かっていたけれど、だから医者になるうえで何が必要なのかは全く分かっていなかったし、大学に入れば見えてくるものだと思っていました。でも実際の大学の授業でそういったことは教えてもらえないし、このまま医師になっていいのかという思いがあったので、今日の授業を聞いて本当によかったです。
- 臨床の講義を受けて約半年、先生のようなことをおっしゃる先生は他に一人もいませんでした。先生のような熱意を持って講義をしてくださる方もいませんでした。
- 遅くまで残って、もうけた気がします。自分は、部活や人間関係で悩んでいます。でも、ひとつ自分の指向する所へ頑張ってみようと思いました。診療科を選択するというよりも、それを通じた生き方の選択をすることになると感じました。
- 他の先生方とは全く違う講義で印象深かったです。何事も一生懸命ぶつかっていくことは辛いことだと分かっていたましたが、先生のような方がいると知れて、自分も頑張れそうです。ありがとうございました。
- はじめは、どこからでも反論できるような姿勢で聞いていたのですが、最後には素直にうなずいて聞いていました。皮膚科に対するイメージが、この1コマでまるきり変わりました。お忙しい中、ありがとうございました。
- 皮膚科の知識とか、そういうものを覚える授業だと思っていましたが、医師としてどうあるべきか、深く考えさせられる授業でした。今は、知識をひたすら覚えることに必死で、それをどう役立たせるのか、活かすのかをあまり考えていませんでした。非常に参考になりました。
- 普段の授業で聞けないようなことを話して頂けて良かったです。自分が患者さんと向き合う状況をまだ想像することができませんが、まず目の前の人にきちんと向き合うということを忘れずにやっていきたいです。目の前の人と話している時には、“目の前の人のことを考えよう”と思うこと自体も余計な事のような気がするので、その人の話を聞いて、その場で自分ができる最大限のことをする、ということを実践するように頑張ります。
- 私は、皮膚科の普段の講義を聞いていて、難しい疾患名がたくさん出てきて、何が何だか分からないだけだと思っていました。先生のご自分のやっていることに責任を持ち、患者さんの「涙」を「笑顔」に変えたいという思いを抱きながら、医療を行っている姿勢を見て、ハッとさせられました。自分が何をしたいのか、どう患者さんと関わりたいかなど、今のうちから考えていきたいです。ありがとうございました。
- 「本質は、患者さんの涙を笑顔にできるかどうか」という言葉に感銘を受けました。自分が医学生として、ゆくゆくは医者になるだろうということの意味を、深く考えさせられました。先生が行った研究も「患者さんのために何とかしたいから」という非常にシンプルかつ合理的なもので、学位取得や富・名誉のためでなく、ひたすら患者さんのために思い、やり抜くその姿勢に感動しました。

- 最近、講義に対して無気力でいることが多かったです。入学当初は高い志と熱意を持っていたはずなのに、学年が上がるにつれてその心を忘れていました。今回のように出席を取らない代わりに出たい人だけ出ればよいという講義は新鮮でした。今回の講義の内容は心に残る部分が多かったので、大変ためになりました。
- 今日の講義では、ほとんどの先生がいうような「～科は楽しい」とか「楽しい将来」のような決まりきったメッセージではなく、何が（長い目で見て）大切なのか、皮膚科の実情を知る事ができたと思います。実際のところ、私は皮膚科に進もうとは思っていませんが、先生の経てきたような「孤独な戦い」に今後進んでいくことを考えていたので、先生のお話に勇気を頂いたような気がします。多くの名言を聞いたことも大きな収穫になりました。これからもお体に気を付けて頑張ってください。ありがとうございました。

中部地方の看護学校
テーマ：皮膚科の臨床&人間学
聴講者の感想（抜粋）

<1年生>

- 厳しい状況の中で日々努力し、自分の持ち場だけでなく全体をも良くしていこうという先生の姿勢はとても勉強になりました。
- 他の医者には「もう治らない」と言われていたのに、あきらめず、他の改善策を見つけ、実行して苦しんでいる患者さんの笑顔のため、治療することの大切さを知った。
- 今日、知った言葉を胸に刻み、これから学校や看護師になってから仕事等で悩んだり立ち止まったりした時に思い出していきたい。今日の講義はとても考えられさせた。これから、患者さんやその家族の笑顔を取り戻せるよう、また、自分自身も常に向上心をもって仕事ができるようにしていきたいと思いました。とても分かりやすくなるための講義、ありがとうございました。
- 自分の病院だけでなく、他の皮膚科について、将来についても考えるという思考は勉強になりました。
- 私は普段こういう講演では寝てしまうことが多いのですが、先生のお話はとても興味深くて寝ることを忘れてしまいました。
- 「役に立つ人間になるには、仕事の愚痴を言わず自分の最善を尽くして一生懸命やる」ことが大事ということに感心しました。
- 患者さんに説明するときには、誰でも分かるような説明をしていくことが大切で、そのためには自分がしっかりと理解することが必要だと思いました。
- 患者さんの笑顔を増やしていく看護師になりたいと思った。
- 医療への向きあい方を変えることで、困っている患者さんは減り、涙は笑顔に変わる。少しでも多く笑顔に変えられる医療従事者になれるように日々を重ねていきたいと思いました。
- 「私はこれができる」という事を誇るのも良いけれど、先生のおっしゃるように、徳を大切に生きていきたいと思いました。
- とても楽しく講演を聞くことができ、また学ぶことも多くありました。
- 患者さんの苦痛を緩和して笑顔に変えて行くことを心掛けているという言葉がとても印象的で、スライドと先生の言葉でどんな看護師になりたいのか、理想なのかということをもっと深くすることが出来ました。
- 人間学の授業では、多くのことを学びました。
- すごく自分に良い言葉を覚えることで、これから辛いときでももう一度踏ん張りがきくと思う。
- 納得できることや、確かに！と思う部分、心にしみる言葉が多く、今後に活かして行きたい。
- 先生の考えを聞いて、これからの学生生活もがんばれそうな気持ちになりました。
- お話を聞いて、「とにかく諦めてはいけない」ということを学びました。
- 岸本先生は病態や疾患・治療を「人間学」という他の視点で見ている、普段受けている病態生理や解剖整理といった講義より深い内容でためになりました。
- 今の状況に満足せず常に向上心を持つこと、また自分の意思を強く持ち地道に努力することが大切だとわかりました。

- ・ 皮膚科について、たくさん勉強ができて本当に良かった。専門的知識だけではなく、看護師として、人間として、歩むべき道を教えてくれました。岸本先生の授業はすごくわかりやすかった。

<2年生>

- ・ 他の人たちがさじを投げてしまった患者さんだって、可能な限り対応していけることを知り、その人のために考えた治療というスタンスは、これから私達が働いていく上で理想とすべき姿だと思いました。
- ・ 自分が人間として成長するために、どんな心構えが必要か考える機会になりました。ありがとうございました。
- ・ 病気が治らず困っていたり、落ち込んでいる患者さんにも希望を与えられるような声かけやその人が病気と向き合って自己管理ができるようなサポートをしていきたいなと思いました。
- ・ 今後実習や困難な場面にも出会うことがあると思います。でもそんな時は「私は看護師になる」と強い意志で向上心を常に持っていきたいなと思います。
- ・ 私自身、蕁麻疹がひどくて皮膚科を受診したのですが、ろくに話しも聞かず薬を出されて終わりでした。痒くて辛いのにどうしたら良いのか分からずとても悲しかったです。私は看護師になってから、岸本先生のように患者さんの話しをよく傾聴し、向き合い、精神・心理面でも支えられるような関わりを持って行きたいです。
- ・ 岸本先生はハードな状況でも人が困っていることに真正面から向き合っていると感じた。同時に、苦しみに埋もれず、知恵や探究心を持って、もっと広い分野というか、他科、他病院、全国に向けて現状をアピールしたり、解決法を認識させることで、仲間を増やしている姿はすごいです。
- ・ 自分も患者さんが最後に笑顔になってもらえる接し方ができる看護師になりたいと思いました。
- ・ とても分かりやすく興味深いお話でした。ありがとうございました。
- ・ これから自分のベストが尽くせるように頑張っていきたいです。ありがとうございました。
- ・ 講演を聞いて、とても分かりやすく興味がわく内容で、とても勉強になりました。
- ・ 患者さんと「しっかり向き合っていく」ことが大切だと分かりました。
- ・ 何のために医療者になったのか、私自身も考え直させられました。人として、患者さんとどう向き合うべきなのかが大切だと思いました。
- ・ この講演を是非とも医療関係者の方にも見て頂きたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ やはり、患者さんの笑顔を見るのが一番の幸せです。先生は何人の人々を救って来たのでしょうか。感激して言葉にできません。患者さんの思いを大切にできる看護師になります。そのために、今を一生懸命、勉強に時間をかけて行きたいと思います。
- ・ 楽しく話しを聞くことが出来ました。岸本先生の解説があり分かりやすく理解できました。
- ・ 「こんな仕事をさせておくのはおしい」と思われる程の努力が大切なんだと感じ、自分もそこまでがんばってみようと思いました。
- ・ 今後、持っている限られた力を最大限に生かして生きていくようにしたいです。
- ・ 講演の内容を今後生かせるようになりたい。
- ・ 諦めずに患者さんと向き合うことが大切だと感じました。
- ・ 分かりやすく勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 座右の銘は難しい言葉が多かったけれど、込められた意味は深く、心に響くものがありました。

- ・ 諦めない気持ちは、生きて行く中で大切なことだと思った。
- ・ 私の地元の皮膚科の先生は絶対に触診はしません。汚いと思っているのかと嫌悪感を抱いていましたが、岸本先生のような医師もいると知り安心しました。

<3年生>

- ・ 人間学、皮膚科のお話とても面白かったです。
- ・ 今後看護をしていく中で、自分もプロ意識を持ち、常に向上心を持ち続けたいと思います。
- ・ 人から感謝される、ありがとうと言われる仕事って、やはり遣り甲斐のある仕事だと思うとともに、医療を行うには責任感を持っていくことが大切だと感じました。
- ・ 人間としてどんな生き方をすることが良いのか、看護師として働く上で必要となる人間性は何か、勉強になりました。
- ・ 今は自分の目標に向かって、目の前にあることをこなしていけるようにしたい、そして自分自分らしく、努力し続け人間として良い人と言われるように成長していきたいと思った。
- ・ 看護師として生きて行く中で、様々な人達と出会って行くと思いますが、相手の立場になって看護を行っていくことと、自分をいつも磨き続けて行きたいと思いました。
- ・ 患者さんのことを理解するためには、患者さんの話をじっくり聞くことが大切で「絶対に治すんだ！」という思いが大事だということが分かりました。
- ・ 医療者側の「伝える力」を養わないと、患者さんにはしっかり伝わらないので、相手を意識した話し方を今から身につけておきたいと思いました。
- ・ 人間学の話聞いて、実習や課題、国試勉強など一生懸命やろうと思いました。今、一生懸命やるのが、将来、患者さんのためにきつとなる！と思いました。
- ・ 笑える内容もあり楽しく学ぶことができました。
- ・ 医師としての使命感、思いやり、あきらめない心という信念を医師だけでなく、看護師も失わないことが大切だと思いました。
- ・ 数々の言葉が実習中であるこの状況においてすごく心に響き、大変であったり、失敗も多く嫌になる時もあるけど、心幹をぶれずに持ち、自分らしく努力し、頑張りたいと思った。焦らず失敗を恐れず前向きにやってみたいと思えた。
- ・ 人間学の話聞いてとても考えさせられました。とても心に響きました。
- ・ 今回の講演はうなずけることばかりでとてもためになりました。
- ・ すごくおもしろくて、笑いながら楽しく受けさせて頂きました。今までの講演会の中で一番良かったです。
- ・ 今回の講義を聞いて、いろんな事を考えました。
- ・ 環境のせいにせず自分に厳しく、常に成長して行けるように志を持って行きたいと思いました。
- ・ 私も皮膚炎で悩んでおり、泣きながら薬を塗る毎日です。担当の皮膚科医は皮膚を診てもくれないし、効かないと言っているのに「様子見」とか「ストレスだから仕方ない」と言われ、どうしようもない気持ちになります。だけど今日、岸本先生の話聞いて、こんな先生もいるんだ、と感動しました。患者さんの訴え、苦しみに耳を傾けて、分かろうとしてくれる姿勢を見て、私も救われたような気持ちになりました。私も忙しい中で流れ作業のように淡々と関わるのではなく、きちんと一人一人の患者さんの苦痛に向き合い、話を聞いてあげられるような看護師になりたいと思います。

- 力がないと思うなら、力をつける努力をしなければならない。全力で学んで全力で仕事をして、全力で遊ぼうと思います。
- 病気は心で治すものだと思っています。関わる医療スタッフの思い一つで患者さんの今後が大きく変化して行く、そんな仕事に就くのだと思っています。今日は、すばらしい言葉をたくさん頂きました。
- 目の前のこと、患者さんに対して一生懸命に取り組む気持ちを忘れずに仕事をして行きたいと思いました。
- 皮膚科の臨床の話はとてもおもしろかったです。
- 私も生まれつきアトピーを持っており、全身に症状がありました。アトピーは見た目も悪いし、他人から嫌な目で見られたりすることもあったので、ここまで良くなるのは本当にうれしいことだと思います。これからもがんばってください。今日はお忙しい中ありがとうございました。
- 自分もアトピーなので、アトピーの話は他人事ではなく見ていて苦しかった。それと同時に喜んでいく患者さんたちの気持ちも分かり、今とても幸せなのだろうと思う。そういう風に帰して行くのが病院の役割であるはずだから、それを諦めてはいけないと思った。そういう病院で働きたいと思った。
- 何を自分の信念とするか考えて、それを見失うことなく働いていこうと思う。
- 看護師になるにあたっての仕事に対する考え方、どう向き合った仕事をしていけば良いのかを学べた。
- 分かりやすく理解しやすい話で貴重な時間でした。ありがとうございました。
- 人間学という普段生活している中では関わることのないことを医療・看護に結びつけることで、その言葉の本当の意味を知ることができました。
- 人間学の話聞いて、人間の考え方一つで生き方とか行動とかを変えられるから、自分の考えを見つめ直して変えて行くことで相手に良い影響を与えられるような人になりたいなと思いました。
- 忙しくても、患者さんを大切に作る姿勢は私も見習いたいと思いました。自分が“皮膚”にこんなに興味を持てたのは初めてでした。スライドや話は、とてもおもしろくて分かりやすく見やすかったです。また来て下さい。お忙しいのにありがとうございました。
- 知識、技術の限界を患者さんに押し付けずに、打開策を考え実施していくことも医療なんだと思った。
- 学ぶ意識、獲得して行く知識に加え、熱意を忘れてはならないと思えた。
- 人間学の話は、どれも心に響く言葉であった。
- 講演はとてもおもしろく、看護師として働くことも楽しみですが、医師として患者さんの悩みや不安、涙を取り除いていくということが、すばらしいことだと感じます。
- 今後自分の人生を全うしていくために、岸本先生のお言葉を大切にして、たくさん本を読み、色々なことを感じ、自分を高めながら、自分の納得できるような自分に成長して行きたいと思います。
- 人間の目指すことは何なのかを知ることができ、とても勉強になりました。
- 本日は遠くから静岡に足を運んで頂き、貴重な話をして頂きありがとうございました。岸本先生の講演を心に留め、看護師の仕事に就いて行きたいと思います。

<教職員・看護師>

- 自身のあり方を見つめ直す機会となりました。本当にありがとうございました。
- 今に力を注ぎたいと思えました。
- 学習をこつこつ積み重ね、誠実に患者さんに向き合える看護師を育成するために、情熱を持って行きたいと改めて思いました。
- 皮膚科の先生に対するイメージは、患者さんの話を聞かない、忙しい、強い薬を処方する、なので、できるだけ受診したくない、でしたが、患者さんの全身状態を考えてくれる先生もいるんだと思いました。
- 本日学んだことを病棟に持ち帰り、仕事に生かして行きたいと思います。
- 医師の中には“餅は餅屋”というように、自分の専門科以外は手をつけない医師も多くいます。岸本先生のように精神的フォローのできる医師が多くなることを望みます。

東北地方の医療関係企業（新人研修）

テーマ：人間学

聴講者の感想（抜粋）

- 私も実は様々な点で悩んだり、私の今のやり方、考え方で本当に今後大丈夫なのか？と思うことが多々ありました。岸本先生のご講演の中にあつた言葉等、参考になりましたし、今の仕事の信念を貫く事への自信になりました。頂いた言葉を私も心に留めて精進して行きます。「人間学」講座これからも広めていって下さい。本当に本日は誠にありがとうございました。
- 勇気をたくさん頂くことができました。先生がご経験された内容を伺った上で「人間学」と素敵なお言葉を勉強させて頂いたことから、非常に心に響くご講演でした。
- 単なる疾患を治療するだけではなく、一人の人間として、患者さんの人生を心を考えた治療こそが、真の医療であるご教授頂き、改めて、私共の使命も意識することができました。新人として、人間として、まだまだ未熟ではありますが、今回の岸本先生のご講演を思い出し、精進して参りたいと思います。ありがとうございました。
- 「人間学」という分野から、社会人としての在り方や一つの考え方を学ぶことができたと思います。大変勉強になりました。改めて自分の「考え方」や「価値観」というものを見直して行きたいと思いました。
- 本日は素晴らしいお話を拝聴させて頂きましたが、座右の銘のお話が印象に残っております。共感致しました。私達にはとても心に残る言葉でした。基本や初心を忘れず、こだわりを持って仕事をして行きたいと感じました。
- 私は本日初めて「人間学」についてのお話を耳にしました。私達は転勤の多い職ですので、自分の思ったような土地で働けるとは限りません。ですので、どんな土地へ行くことになっても環境に左右され気落ちすることなく、「心幹」を貫きたいと思いました。本日は貴重なご講話ありがとうございました。
- 「人間学」は、社会人としての在り方等、非常に勉強になることばかりでした。私も日々の活動の中で、一日一日厳しい道を選べればと心がけているのですが、日々の業務に追われ忘れがちになってしまいます。今回のご講話で日々の小さな積み重ねが重要であることを再認識することができました。また、非常に印象に残る言葉もありました。
- 座右の銘の言葉が大変印象に残っています。日頃の自分の生活を思い返すと思い当たる、があるので、お話を通じて聞かせて頂いたことは大変良かったと思います。また、普段の営業活動を行う上で、先のことが見えずに目先のことを考えてしまうこともあったので、再度、自分の活動を見直すとても良い機会になりました。今後に生きる大変貴重なお話でした。本日はありがとうございました。
- 今私は一年目で、営業として働くのが初めてですので、毎日が刺激的でとてもおもしろいと感じております。ただししばらくすると、何も考えずに惰性で仕事をする様になってしまうのではないかと考えています。先生のお言葉から、常に世の事を考えて、変化に対応し、小さなことに気付いて日々仕事をして参りたいと思いました。本当に大変参考になるお話で今後の活動に生かして参ります。
- 岸本先生の「人間学」をお伺いでき、非常に参考になりました。私は途中入社しましたが、身に染みた内容がありました。もう一度足元から見直して、業務に励んでいきます。
- 心に響く言葉ばかりでした。私も浅いですが、「人間学」について考えることがあります。自らの考えの再認識、新たな感化を今回頂きました。